

一般質問

6月定例会では、6月11日から6月17日までの5日間にわたって、個人質問（19人）が行われ、当面する市政の重要課題について活発な論議が交わされました。今回の質問では議員ごとに1項目ずつ計19項目を掲載しています。

（個人質問）

市民クラブ

後期高齢者医療制度の問題点に対する見解と本市の対応について

問 後期高齢者医療制度の問題点が多く指摘されているが市長の見解を伺いたい。また、この制度を廃止し、真に高齢者の健康の保持と適切な医療の確保を目指す制度をつくることを、国へ働きかける必要があるのではないかと

答 国民の間でも論議を呼んでいることは十分承知している。一自治体単体としての動きではなく、全国市長会等を通じた動きとして、自治体や市民の意見を届けていきたいと考えている。

公用車の保有台数の適正管理とリース化について

問 本市が所有する車両台数は適正規模なのか、一定の評価を行うべきと考えるが検証は行っているのか。また、経費削減策として公用車のリース化について調査、研究を行っているのか。

答 同じ職場で複数の車両を保有し、走行距離や稼働日数に差がある車両もあるため、状況を精査し、他都市の管理方法も調査して改善を図りたい。リースについては、事務の効率化及び経費削減から今後とも検討したい。



公用車

観光による経済効果と物産振興について

問 長崎に伝来したコーヒーやビール、カステラなどストーリー性を持たせた物産の販売を帆船まつりなど既存の観光イベントに組み込むという、見る観光に売る観光をプラスする考えはないか。

答 観光における都市間競争が激化する中、今後とも長崎らしい魅力ある特産品づくりを支援するとともに、販路開拓・拡大につながるよう、市内の観光イベントを活用した特産品販売に積極的に取り組んでいきたい。

市税等の増収対策について



帆船まつり特産品コーナー

問 市税収入の確保、未利用地の売却等、新たな収入増対策が打ち出されているが、現状について伺いたい。また、市税徴収率の向上、コンビニ収納の拡大など今後の取り組みについて伺いたい。

答 増収対策として市のホームページやリンク広告掲載数の増加や不要物品の売却を実施した。今後の取り組みとしては、未収金対策の効果的な徴収体制や、市税や保育料等のコンビニ収納について対象の拡大を検討している。

被爆二世問題について

問 市が国に要望している被爆二世対策は、実質的に何も進展していない。市は被爆二世問題をどのようにとらえ解決しようとしているのか。市が独自に実施できる被爆二世への援護措置もあるのではないかと。

答 被爆二世対策は国の責任においてなされるべきであり、独自に施策を講じることは困難であるが、国への要望を行う中、本年度から血糖値検査が追加されるとともに国の検査費基準額も引き上げられた。今後も、被爆二世対策の充実を国に強く要望していきたい。

入札制度について

問 業務委託及び物品の借入れの契約に関しては、各所属で指名競争入札を行っており、恣意的な業者選定、選定業者の固定化、実績重視の選定になるなどの難点がある。一般競争入札導入に向けた取り組み状況を伺いたい。

答 一般競争入札については、本年6月から建設事に係る業務委託について、本年7月からは建設工事以外の業務委託、物品の購入・借入れの一部の案件でそれぞれ試行開始する。今後は、試行結果を検証しながら平成22年度の本格導入を目指したい。

自由民主党

学校の適正配置について

問 平成11年に市立小中学校の適正配置の基本方針が出ているが、もう少しはつきりした統廃合案を出すべきではないか。適正配置検討の進捗状況について伺いたい。

答 今後10年ぐらいの期間を見据えて、全市的な視野に立ち、小規模校化や施設の老朽化が進んでいる学校の中から統廃合検討対象校を抽出し、早期に計画案をまとめたい。

その上で、地元の合意を得ることができたところから、適正配置を進めていきたい。



本年4月に矢上小学校から分離新設された高城台小学校

世界遺産暫定リスト入りを目指している高島の構成資産の整備活用について

問 市は、「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産暫定リスト入り

を目指す取り組みを推進しているが、高島の構成資産の整備・活用についてはどのように考えているか。

答 構成資産を活用する場合、施設整備や時代考証に基づく一部復元など必要であると考ええる。構成資産を地域の宝物として末永く守っていく趣旨からも、持続可能な活用体制の確立が不可欠であり、資産を活用した地域のビジネスモデルの構築についても検討の必要があると考ええる。



北溪井坑跡(日本最初の洋式炭坑の坑口)

イルミネーションを使った観光資源の開発について

問 現在、大浦地区ではまちづくりの一環として松が枝公園でクリスマスイルミネーションを実施している。そこで、グラバー園を含めた大浦居留地付近を対象としたイルミネーションイベントを実施する考えはないか。

答 現在の地域主体の取り組みを尊重しつつ、既に取り組まれている各所のイルミネーション装飾が一つのエリアとして集客力がある一体的なイベント

とならないか、ネットワーク化や情報発信について検討していきたい。

政策的な融資のあり方について

問 市の融資制度の利用状況が近年減少しているが、原因として何が考えられるか。また、中小企業が厳しい経営環境のなかでも、経営のスキルアップを図り、成長していくための政策的な融資制度を構築してほしい。

答 市内事業所数の減少と、平成18年度に行った融資制度改正などが減少の理由と考える。今後とも、市が設置する「長崎市中小企業サポートセンター」が中心となり、中小企業が融資を受けやすい相談体制の充実と、経営力向上のための支援を図っていきたい。



松が枝公園のイルミネーション

自民明政クラブ

外郭団体の経営改善に対する取り組みについて

問 いわゆる地方財政健全化法が施行され、今後は外郭団体の負債を含めて市の財政状況を判断されることになる。本市の外郭団体の現状をどう認識しているか。また、経営改善のための基本的な方向性について見解を伺いたい。

答 指定管理者制度が導入され、外郭団体には民間と競争できるサービスの向上や低コストの実現が求められる。市の財政健全化の観点からも、組織・人員体制・給与制度のあり方等のさらなる見直しを進め、自立した経営が行えるよう指導を徹底したい。

盲導犬募金自動販売機の設置について

問 盲導犬の育成には多くの時間と人手、費用がかかるが、ボランティア、善意の寄附金、募金等により育成をしているのが現状である。社会貢献活動の一環として市有施設に売り上げの一部が盲導犬育成基金に募金される自動販売機を設置できないか。

答 平成13年に策定した「長崎市役所環境保全率先実行計画」に基づき市有施設における自販機の新規設置を抑制する方針をとっている中、盲導犬の育成に役立つ募金付き自動販売機の設

置が可能かどうか検討したい。



盲導犬募金自動販売機

公明党

ブックスタート支援事業について

問 核家族化が進む中、若いお父さんお母さんの中には子守歌や童謡、手遊び歌を知らず、子どもとどう接しているかわからない人が増えている。赤ちゃんと保護者が絵本を介して心触れ合うきっかけづくりを行うブックスタート支援事業を導入してほしい。

答 図書館司書と連携しながら、読み聞かせの効用、子どもの年齢に応じた正しい絵本の選択などの情報のチラシを乳幼児健診時に手渡したい。また、健診時の待合室の絵本をさらに充実させ、自由に読み聞かせができるよう整備したい。



こども健康課待合室の絵本

留学生の増加へ向けた課題について

問 18歳人口の急減は大学経営上死活問題であり、国の留学生受入方針に対応できる、大学の周辺環境の整備が求められている。留学生の増加に伴う留学生宿舍や健康保険の一部を補助するような制度ができないか。

答 現在、市は関係機関とともに、宿舍の問題や国民健康保険料の一部負担制度等に取り組んでいる。今後も関係機関と連携を図りながら、留学生が長崎で安心して学び、不自由のない日常生活を送ることができるよう、積極的な留学生受け入れ方策を検討したい。

介護支援ボランティア制度導入について

問 高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防を推進するために、元氣な高齢者が介護ボランティア活動を通して地域貢献することを奨励及び支援する介護支援ボランティア制度を導入する考えはないか。

答 高齢者の社会参加、介護予防を目的に介護予防ボランティア、通称「あじさいサポーター」を養成し、活動いただいている。今後、あじさいサポーターの活動をベースに長崎市型のボランティア活動を推進していきたい。

日本共産党

新市立病院の建設・運営について

問 新市立病院の建設についてはPFI方式ではなく直営で行うべきだ。また、運営についても地方独立行政法人などではなく自治体病院としての役割を十分果たし得る体制で運営すべきと考えるが、市の考えを伺いたい。

答 PFIのメリット、デメリット、地域に及ぼす影響などを総合的に判断し決定したい。地方独立行政法人化を検討するためのプロジェクトチームを設置しており、本市における移行の可能性、課題の整理及び具体的スケジュールの検討結果を年内にはとりまとめたい。



市民病院

乳幼児医療費助成制度の拡充について

問 本年度から乳幼児福祉医療費に対する長崎県の補助率が引き下げられたが、補助率堅持を求める県との交渉状況及び市の見解を伺いたい。また、対象年齢の拡大と自己負担額の引き下げ等についての見解を伺いたい。

答 県知事への要望書提出を皮切りに、市選出県議会議員への要望等を行った。副知事との協議や県福祉医療制度検討協議会においても到底容認できない旨を主張している。なお、現在の制度は、他県と比較しても見劣りしないと考えている。

気走会

市営ラグビー・サッカー場の人工芝化とスタンド改修について

問 次期長崎国体のラグビー競技開催に向けた市営ラグビー・サッカー場の人工芝化の進捗状況を伺いたい。また、現在の観客席を観客収容増が図れる構造に改修してほしい。

答 市営ラグビー・サッカー場の人

工芝化とスタンド改修については、現在、県が検討している競技会場となる市町への財政支援措置及び中央競技団体の視察における指摘事項等の結果を踏まえ、県・市・県競技団体で検討していく。



市営ラグビー・サッカー場

市民の会

長崎県校長会研究大会への出席奨励について

問 平成19、20年度における県校長会研究大会への本市の市立学校長の欠席が非常に多い。出張費も県費で保証されているにもかかわらず、なぜ市は出張許可をためらっているのか。

答 県校長会研究大会は毎年5月の連休明けという、児童生徒の不安定な時期、また運動会・体育大会など大きな学校行事を実施する時期に開催されている。校長は学校の最高責任者であり、自校のことを一番に考えた上で判断していただいていると思っております。

委員会審査の 主な内容

各常任委員会における主な議案の審査状況は、次のとおりです。

総務委員会

市長及び副市長の給与に関する条例等の一部を改正する条例を可決

今回の改正は、本市の厳しい財政状況を踏まえ、現在、職員に対し、給与制度の大幅な見直しを提案していることから、市長、副市長、教育長、常勤の監査委員、上下水道事業管理者及び病院事業管理者の給与を減額しようとするものです。

委員会では、長崎市特別職報酬等審議会への諮問の有無などについて慎重に審査しました。

その結果、生活給のカットは認められないこと、手続き上の問題があると考えられること、退職手当なども含めたトータルで検討すべきであることを主な論拠とする反対意見が出されました。

一方、今回の改正に関連し、旧町地域に勤務する職員の地域手当の不公平を改善してほしいとの要望を付した賛

成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

厚生委員会

長崎市立病院使用料等条例の一部を改正する条例を可決

今回の改正は、市内の医療機関との機能分担等を勘案し、市民病院の分べん料を改定しようとするものです。

委員会では、分べん料を値上げする理由及び方針について説明を求めると慎重に審査しました。

その結果、分べん料を値上げすることによって役割、機能区分を解決する問題ではなく、別の手法により公的病院としての中心的な役割を担って医療機能を維持する方策を十分に議論すべきであるなどの反対意見が出されました。

一方、安心して出産できる環境を整備し、人材育成に早急に取り組んでほしい、医師の増員に努めるとともに、民間医療機関との役割分担について、市民の理解を得られるよう十分周知してほしい、少子化の中で子どもを産みやすい状況に行政としても取り組んでほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

文教経済委員会

長崎衛生公社貸付金など平成20年度長崎市一般会計補正予算(第1号)を可決

補正予算のうち、衛生費において、株式会社長崎衛生公社に対する補助金の一部及び公社の損失補償に係る債務負担行為の限度額の全額をそれぞれ減額し、これらに相当する額を貸付金として、公社に貸し付けようとする予算が計上されています。

委員会では、貸付金の返済の見込み、公社の今後のあり方、当初予算において、公社に係る補助金及び債務負担行為を計上していたにもかかわらず、今回補正を行うこととなった理由などについて慎重に審査しました。

その結果、全庁的な政策決定により公社の経営健全化策を出してほしい、市民が本当に納得できるように形で、公社のさらなる改革を進めてほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。



長崎衛生公社